

科目ナンバリング		U-LAS21 10004 SJ48			
授業科目名 <英訳>	ドイツ語 I B (文法) D1121 Elementary German B			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 湯浅 博章
群	外国語科目群		分野(分類)		使用言語 日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ
				授業形態	演習 (外国語) (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生
				対象学生	全学向
[授業の概要・目的]					
ドイツ語の初級文法をきちんと理解して学びながら、習得した内容を基にして基礎的なコミュニケーション能力を養成することを目標とします。 新しい言語を学ぶためにはその言語の仕組み(＝文法)を理解することが必要ですが、これは言語を実際に使えるようになるための作業の一つです。そのため、この授業では文法的な内容を学ぶだけではなく、学んだ内容でどのようなコミュニケーションを行うことが可能かという観点から、インターネットや多様な補助教材を援用して基礎的なコミュニケーション能力も身に付けられるように進めて行きます。					
[到達目標]					
・ドイツ語の基本的な仕組みをしっかりと理解して、実際に使えるように多様な練習を通して身に付ける。 ・学んだ内容をもとに、語学力の4技能(「読む」「書く」「聞く」「話す」)を総合的に訓練することによって、ドイツ語圏での滞在や日常生活に必要な基礎的なコミュニケーション能力も身に付ける。					
[授業計画と内容]					
この授業では前期に引き続き、ドイツ語の基礎的な仕組みを理解しながら、初級文法の内容が確実に身に付くように練習して行きます。また、習得した内容が実際のコミュニケーションにどのように活かせるかという観点から、ドイツ語圏に滞在する際に必要となる表現も併せて練習します。後期に扱う文法項目およびコミュニケーション上の学習項目は、概ね以下の通りです。 第1回：導入～前期の復習、完了形の用法(1)；週末や休暇について報告する(1) 第2回：前期の復習、完了形の用法(2)；週末や休暇について報告する(2) 第3回：分離動詞、命令法の用法(1)；毎日の行動をドイツ語で表現する(1) 第4回：分離動詞、命令法の用法(2)；毎日の行動をドイツ語で表現する(2) 第5回：不定詞の用法、再帰表現(1)；毎日の行動をドイツ語で表現する(3) 第6回：不定詞の用法、再帰表現(2)；毎日の行動をドイツ語で表現する(4) 第7回：分詞の用法、比較表現(1)；ドイツ語圏に滞在するための情報を集める(1) 第8回：分詞の用法、比較表現(2)；ドイツ語圏に滞在するための情報を集める(2) 第9回：受動態、非人称構文(1)；観光名所を中心に、ドイツ(語圏)の歴史的・文化的背景を知る(1) 第10回：受動態、非人称構文(2)；観光名所を中心に、ドイツ(語圏)の歴史的・文化的背景を知る(2) 第11回：関係詞の用法(1)；観光名所を中心に、ドイツ(語圏)の歴史的・文化的背景を知る(3) 第12回：関係詞の用法(2)；観光名所を中心に、ドイツ(語圏)の歴史的・文化的背景を知る(4) 第13回：接続法(1)；丁寧なコミュニケーションの方法を身に付ける(1) 第14回：接続法(2)；丁寧なコミュニケーションの方法を身に付ける(2) ＜学期末試験＞ 第15回：フィードバック					
				ドイツ語 I B (文法) D1121(2)へ続く↓↓↓	

ドイツ語ⅠB（文法） D1121(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績は、小テストや学期末試験に基づく試験の成績（60％）と平常点（出席状況、授業中の課題等：40％）に基づいて総合的に評価します。

平常点の評価基準については初回授業時に説明します。

[教科書]

齋藤治之『コトバそしてドイツ語文法』（朝日出版社, 2015年）ISBN:978-4-255-25381-7
必要に応じて、適宜補助プリント（教材および資料）を配布します。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業で指示する課題をこなすことで学んだ内容が定着して行きますので、課題には積極的に取り組んでください。

[その他（オフィスアワー等）]

質問等がある場合には、基本的に授業の前後の時間に対応します。また、何か連絡事項がある場合には、授業中に指示するアドレス宛てにメールで連絡してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]